



大銀杏

根 城



南部師行公

2018年度 第9号

八戸市立根城中学校 平成31年1月17日発行

学校評価アンケート（2学期）の結果のお知らせ

保護者の皆様のご協力に感謝いたします。目標に達した項目が1学期に比べて増えました。アンケート10項目についての結果は以下のとおりです。

＜生徒、保護者、教職員とも肯定的な回答（「よい」「ややよい」）が8割を超えた項目＞
※線で囲んだ部分は、生徒・保護者・教職員それぞれの（1学期の数値）→（2学期の数値）です。単位は％。

☆意欲的な授業 生：91→90 保：81→92 教：92→96
学習目標、方法、まとめ等を明確に示しながら、振り返りを重視した授業づくりを進めました。「主体的・対話的で深い学び」をめざし、更に授業改善に努めます。

☆学習面でのサポート 生：94→92 保：73→84 教：88→88
日常の授業における個別支援、定期考査に向けた補充学習、ペアやグループ学習等、生徒の意欲と学力向上につながる取り組みを進めました。

☆安心できる学校生活 生：94→91 保：88→95 教：92→87
誰もがもっている「学校で安心して過ごせる権利」の保障のため、定期アンケート、日常のコミュニケーションや観察を通して、生徒の悩み等の早期発見・早期解決に努めました。

☆相談できる環境づくり 生：89→92 保：85→93 教：75→84
日常的な観察や情報共有、定期アンケートに基づいた教育相談、12月の全校三者面談等により、小さな変化やサインを見落とすことなく早期に対処するとともに、生徒にとって相談しやすい環境づくりを進めました。また、SSW（スクールソーシャルワーカー）による教育相談も効果がありました。

☆生徒の努力を認める教職員 生：91→88 保：85→93 教：96→92
生徒が努力しようという意欲をもてるような目標設定と具体的なアドバイスに努めるとともに、自分の変化を本人が自覚できるよう、「NEJOライフ」や口頭で伝えました。

☆学校行事等における生徒の活躍の場の確保 生：84→87 保：90→91 教：58→80
校内合唱コンクール、体育祭、文化祭等を通して、生徒一人一人に自分の役割を自覚させるとともに達成感をもたせることができました。「生徒は今よりももっと実力を発揮できる」という教職員の期待に生徒たちが応えてくれました。

＜生徒、保護者、教職員のいずれかが肯定的な回答が8割に達しなかった項目＞

★明確な目標と計画的な実行 生：89→87 保：59→65 教：84→92
保護者の中には、家庭での様子を見れば、まだまだ足りないととらえている方が多いように思われます。学習面でも行動面でも、生徒自らが具体的な目標をもち、「何をどのようにすればいいのか」をしっかりと意識できるよう、日常的な指導の充実に努めます。

★家庭学習習慣の確立 生：78→74 保：55→61 教：63→75
生徒も教職員も「あと一歩」という感じですが、保護者の目からは「まだまだ」といったところ。生徒や教職員としては、宿題をきちんとやってきているかという視点からの評価が主になりますが、保護者としては、家庭での時間の使い方も評価対象になっていると思います。宿題の内容や分量の吟味、家庭での効果的な学習方法のアドバイス等に努めます。家庭においては、決まった時間帯に学習するリズムづくりへの支援をお願いします。

★積極的な学級活動 生：88→77 保：83→91 教：84→88
生徒だけが低下しました。1学期に比べて少し緊張感が緩んだということでしょうか。それぞれに任せられた係活動をはじめとして、生徒個々の特性が発揮され、学級全体の向上につながっていくよう、学級活動の工夫を進めます。

★将来の職業についての学習 生：84→86 保：65→74 教：61→75
職場体験学習や職業についての講話等を通して、保護者も教職員も上昇しましたが、まだ不十分といったところです。学校においては、1年生での職業学習や2年生からの高校説明会の実施等によりキャリア教育の充実を図りながら、今後の自分の生き方について考える場を増やしているところです。

＜まとめ＞

- A：1学期・2学期とも数値目標を達成した項目
☆意欲的な授業 ☆安心できる学校生活 ☆生徒の努力を認める教職員
- B：2学期に向上が見られ数値目標を達成した項目
☆学習面でのサポート ☆相談できる環境づくり ☆行事等での生徒の活躍の場の確保
- C：1学期・2学期とも数値目標を達成できなかった項目
★明確な目標と計画的な実行 ★家庭学習習慣の確立 ★将来の職業についての学習

本校は、今年度達成すべき学校目標を「安心感のある環境のもと主体的に学ぶ生徒の育成」と設定し、様々な教育活動を実施してきました。この目標は、校内研修のテーマ「主体的に学ぶ生徒の育成～課題設定の工夫と振り返りを通して～」と連動しています。

上記のAグループに属する項目が安定しているのはBグループに属する項目が向上したためであるとも言えるし、Bの向上がAの安定を支えたとも言えます。

Cグループに属する項目については、本校の課題の一つととらえ、それぞれの向上のためには「どのようなことを身に付ければいいのか」「どのような具体像をめざすのか」などを明確にしたうえで、生徒一人一人の小さな変化を確かめながら半歩ずつでも前進したいと考えています。保護者の皆様のご理解とご協力を改めてお願いいたします。